



いりり通信

第31号
発行元
入谷小CS推進
委員会編集部



ホームページ
へのQRコード

上手に切れたかな？

「あべさん、りんごの木のかんぱんができました。」と1年生が童子下の阿部さんの農園へ行ってきました。先週、6月9日(水)1年生の生活科りんご栽培体験の活動です。学校で子供たちが描いた看板を届けに行きながら、第1回目の摘果作業を行いました。

子供たちは、阿部さん御夫婦と大沼さんに御指導いただき専用のハサミを使って余分な実を切り取りとりました。秋に収穫するりんごの実が大きくなるようにと願いながら摘果作業を体験しました。この摘果作業は、来月にも第2回目が行われます。



摘果の仕方は...



看板を立てて



みんなでパチリ



どれ切ったらいいの？

6月17日(木)午後6時30分より、入谷小学校体育館において2年ぶりとなる「入谷地区防災教育推進委員会」が開かれました。会は、各地区行政区域長をはじめ南三陸消防署、役場危機対策係、教育委員会、公民館など諸機関の代表者によって構成されています。入谷地区の安全・安心と入谷地区の防災について実践していく会となっています。



織笠さん

千葉さん

矢野さん

魅力ある「まちづくり」とするために

6月9日(水)2・3校時6年生が社会科の「まちづくり」の学習で3人のゲスト・ティーチャー(以下G・T)に来校していただきました。気仙沼圏域で活動している方々で新しいまちづくりについては矢野明日香さん、観光については織笠有加里さん、定住・移住については千葉可奈子さんから御指導いただきました。子供たちは、3人のG・Tから紹介されたプレゼンテーションと自分たちが調べてきた資料を見比べながら、疑問に思っていたことを質問していました。時間の最後には、数枚のフリップにまとめて発表をしました。この学習は、総合的な学習の時間の学習につなげていきます。

2年ぶりの開催



委員長選出は山内敏裕様に

入谷のよさを学んでいきます



佐々木裕作校長が挨拶



齊藤明教育長が挨拶



委嘱状交付

パートごとの顔合わせ



これは、重いは...

6月10日(木)2校時に6年生を対象に「租税教室」が行われました。この学習には、気仙沼税務署から近野弘樹様に来校していただきました。近野様の説明を聞き、私たちの暮らしを支えている税金は、どのようにして集められ、どんなところでどのように使われているのかを学習しました。学習の最後では、一億円のレプリカを持つ体験をして、その重みを感じることができました。

多くの皆様の前での披露を願います。6月10日(木)午後2時30分より入谷小学校体育館で、令和3年度の『入谷打囃子学習会』開講式が行われました。式には、7名の講師の方をはじめとして南三陸町教育委員会齊藤明教育長、入谷公民館阿部勉館長が来校し委嘱状交付が行われました。また、式の中では各講師の皆様より学習会で身に付けてほしい技術や心得の話をいただきました。各パートごとの6年生代表から抱負の発表もあり、式終了後は、パートごとに分かれての顔合わせがありました。これから11月の閉講式まで10回の学習会が予定されています。昨年は感染症の影響で発表の機会が学芸会のみでした。今年度は八幡神社例大祭、入谷秋まつりなどが予定されています。感染症が収束し、多くの地域の皆様の前で子供たちの演技が披露されればと思います。

裏面を見てください

6月29日(火)に行われる「引渡し訓練」に向けて3年前の安全教育通信バックナンバー第4号を載せています。御家庭の連絡方法について確認してください。

多くの皆様の前での披露を願います



せんにちこう 千日紅



花言葉は「安全」

第4号

平成30年5月30日

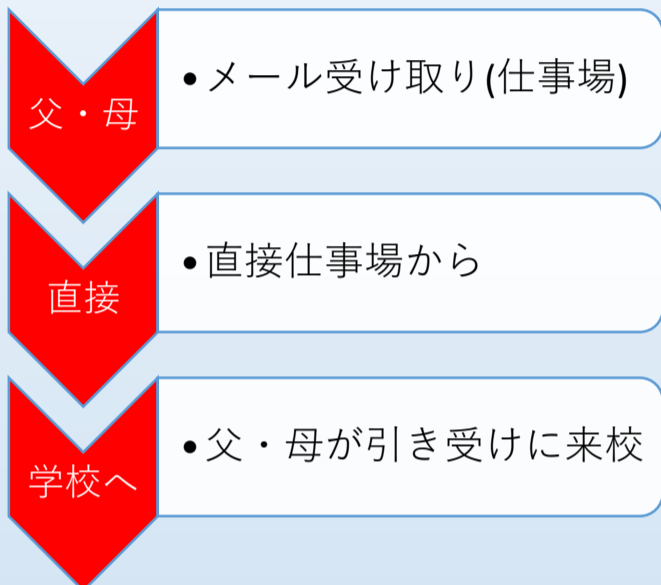
発行：入谷小学校

文責：主幹教諭 小野寺孝夫

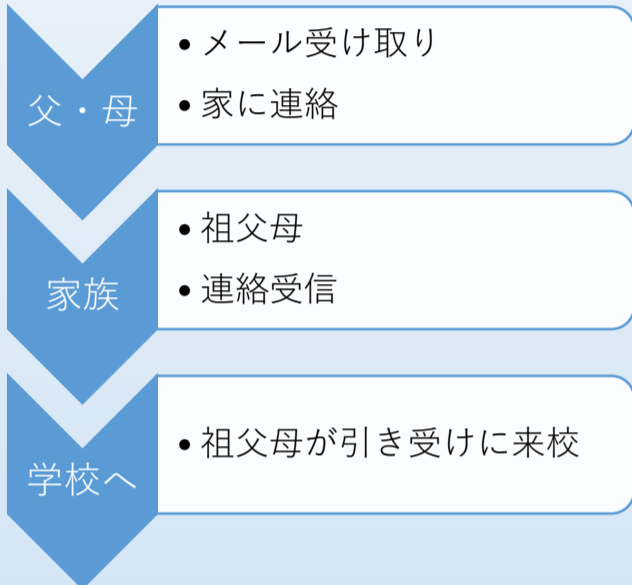
必要な家族間の確認

昨年、他校であった話です。『周辺に熊が現れた』ということで学校では安全に児童を下校させるために保護者へ引き渡しのメールを配信しました。メールを受け取った父親は仕事で、母親が学校へ引き取りに行くものと思いそのままにしていた。しかし、母親も仕事をしており夕方までそのメールに気が付きませんでした。たまたま、祖母が児童館へ子どもを迎えに行くと次々と車が学校へ入っていく様子があり、何かあったのかと行ってみると「引き渡し」を行っていました。父親は『家族間の連絡方法を確認しておくべきだった』ことを痛感したそうです。

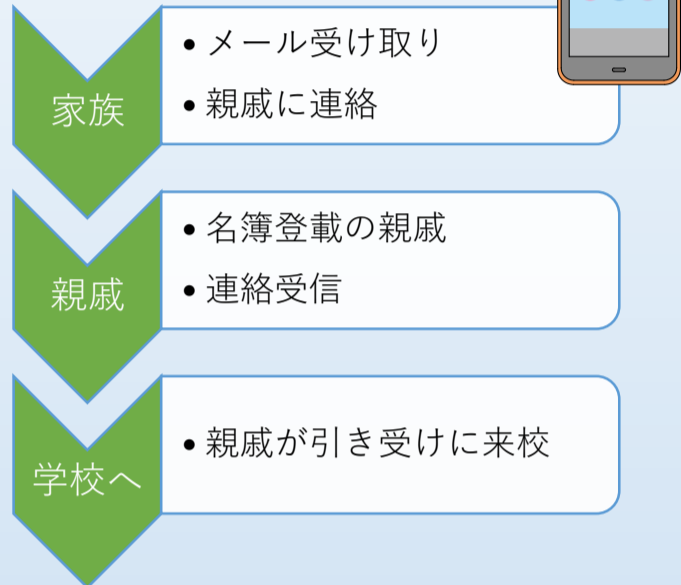
Aパターン



Bパターン



Cパターン



上記の話を読んで皆さんのご家庭ではどのような連絡手段になっているか話し合われていますか。6月8日(金)は志津川中学校区の小・中学校4校による一斉「引き渡し訓練」が行われます。年に1回の「引き渡し訓練」となりますので、この機会にご家庭でも「引き渡し開始メール」が届いてからの家族での連絡手段を確認してみてください。ご家庭の事情により、上記のA~Cまでのパターンの他にも連絡方法があると思いますが、年1回の機会を利用して連絡手順を確認し「家庭での訓練」をお勧めします。いざという時に、誰が誰に連絡を入れ、誰が子どもを迎えに行くかを家族で話し合ってみてはいかがでしょうか。子どもたちは訓練地震発生、避難訓練を、職員は訓練津波警報解除後に引き渡しのための準備を行います。準備が完了しだい「引き渡し開始メール」が配信されますので15:30は目安の時間となりますことをご了承願います。子どもたちにはご家庭で「連絡訓練」を行うため15:30以後に『お迎え』が来る家庭があることを話しておきます。17:00まで訓練は行っておりますので、ぜひ、『お迎え』だけを目的にせず、この機会を利用してください。下記は訓練の流れです。

訓練の流れ



家族間の連絡と確認！

訓練地震 14:30

津波警報・注意報解除 15:00

引き渡しメール配信予定 15:30

訓練は 17:00 まで行います

徐行

訓練の当日、校地内は「徐行」、校地内は「一方通行」となっています。ご注意ください。

引き渡しカードの利用法について、今年度も「訓練」において、子どもを引き渡す時に引き受け者の確認を行うためのカードが書かれています。引き受け者の優先順位が書いてあるカードは、家庭で優先順位を確認するためには、引き受けをする必要な方法です。全員に渡すのも一つの方法です。サイズを拡大してみるなど見える場所に貼っておくのもよいと思います。カードを小さくして財布に携帯しても冒頭の「熊がでた話」のように引受けの時は意味がありません。引受けの時は身分を証明できるもの(運転免許証など)があればよいのです。重要なのは家庭での連絡方法と引き受け者の優先順位の確認です。引き渡しが実際に起こるケースは地震などの災害の時だけではありません。熊などの動物、不審者が現れたなどの生活安全に関わることで学校での引き渡しをする可能性があります。そのため、カードは訓練だけではなく、日常生活でも活用してください。

カードの目的は？